

門川町
まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン

平成27年～平成72年

未来の門川ハッピースマイル戦略

～みんなで幸せ創り隊～

平成27年度～平成31年度

概要版



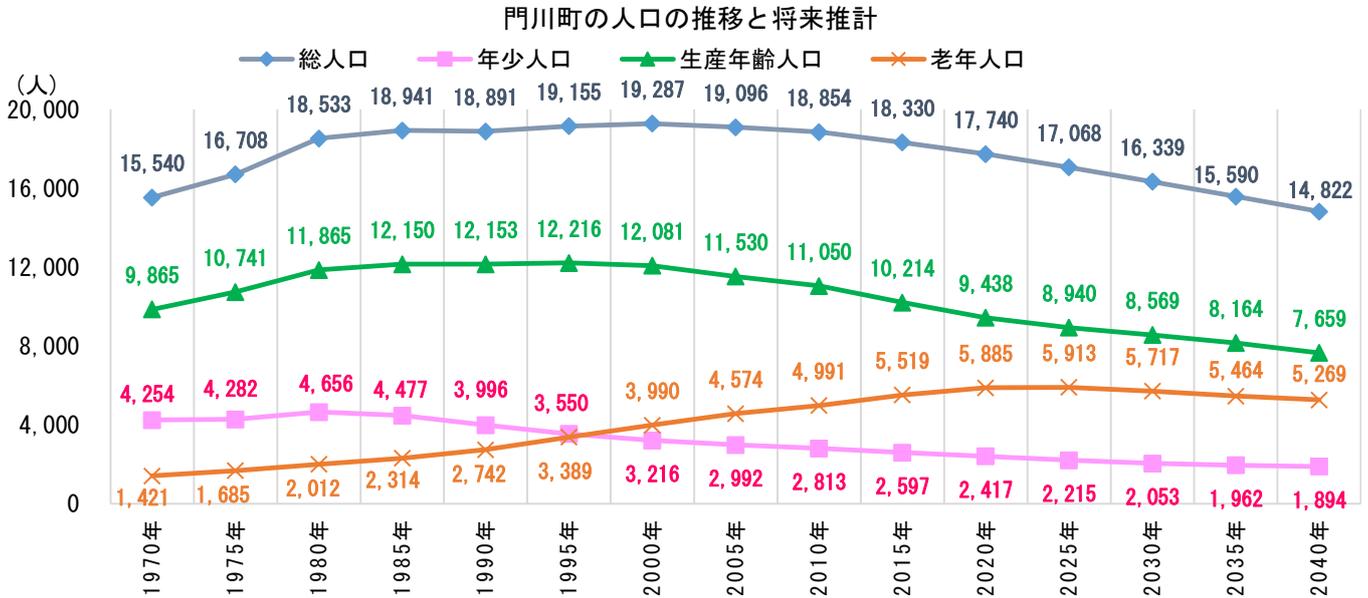
平成28年2月

宮崎県 門川町

門川町の人口の推移と将来推計（1970年～2040年）

門川町の人口は、1964（昭和39）年の日向・延岡新産業都市計画地域の指定や、全国的な第2次ベビーブームなどから緩やかに増加し、1980（昭和55）年以降は、横ばいで推移しており2010（平成22）年の総人口は18,854人となっています。

2015（平成27）年の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によれば、門川町の今後の総人口は緩やかに減少を続け、2040（平成52）年には14,822人（現在から約16%減少）になると推計されています。

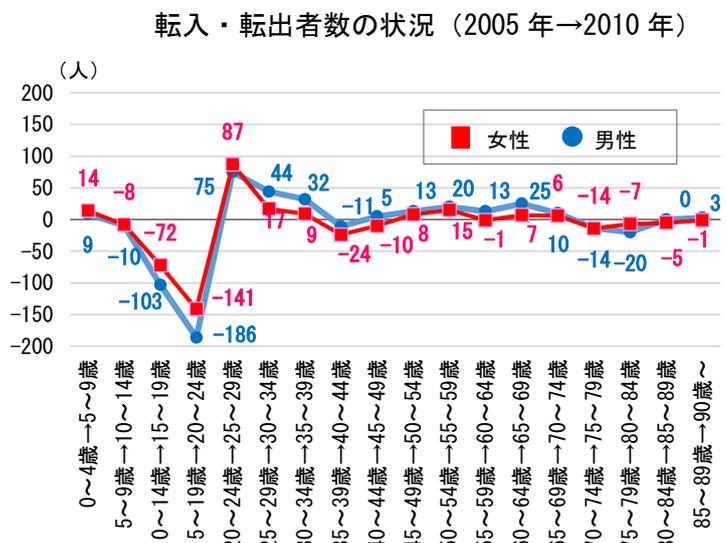
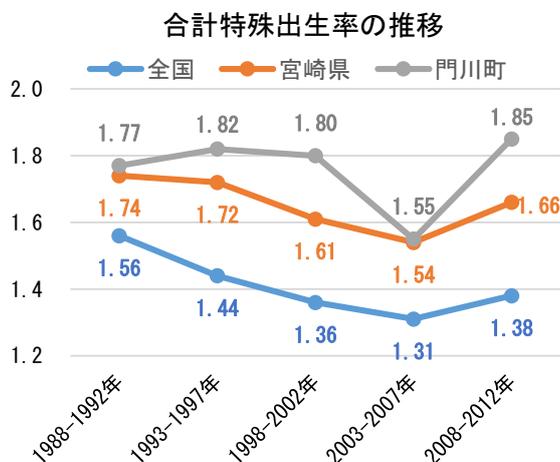


※出所 2010年までは「国勢調査」に基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」に基づく推計値

門川町の合計特殊出生率及び転入・転出者の状況

門川町の合計特殊出生率の推移を国及び宮崎県と比較すると、常に国及び宮崎県を上回って推移しています。

転入・転出者の状況をみると、進学・就職などにより、高校生・大学生の年齢帯が町外へ転出超過となっています。また、20代前半は、大学等卒業後の地元就職などにより町内へ転入超過となっています。



合計特殊出生率

「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。」

門川町の人口の将来展望

このまま人口減少が続くと、地域経済の縮小や公共サービスの低下などさまざまな問題が発生するおそれがあります。

門川町の人口の将来展望は、町民への意識調査・分析を実施し、若者の結婚・出産・子育ての希望を叶え、雇用創出などの課題に立ち向かい、将来にわたって門川町の持続的な発展を目指すため、門川町の目指すべき人口を以下のように設定しました。

① 人口ビジョンにおける将来展望

2030（平成42）年に総人口16,700人程度を維持します(社人研推計比 357人 増)
2060（平成72）年に総人口12,700人程度を維持します(社人研推計比 830人 増)

② 将来展望に係る条件

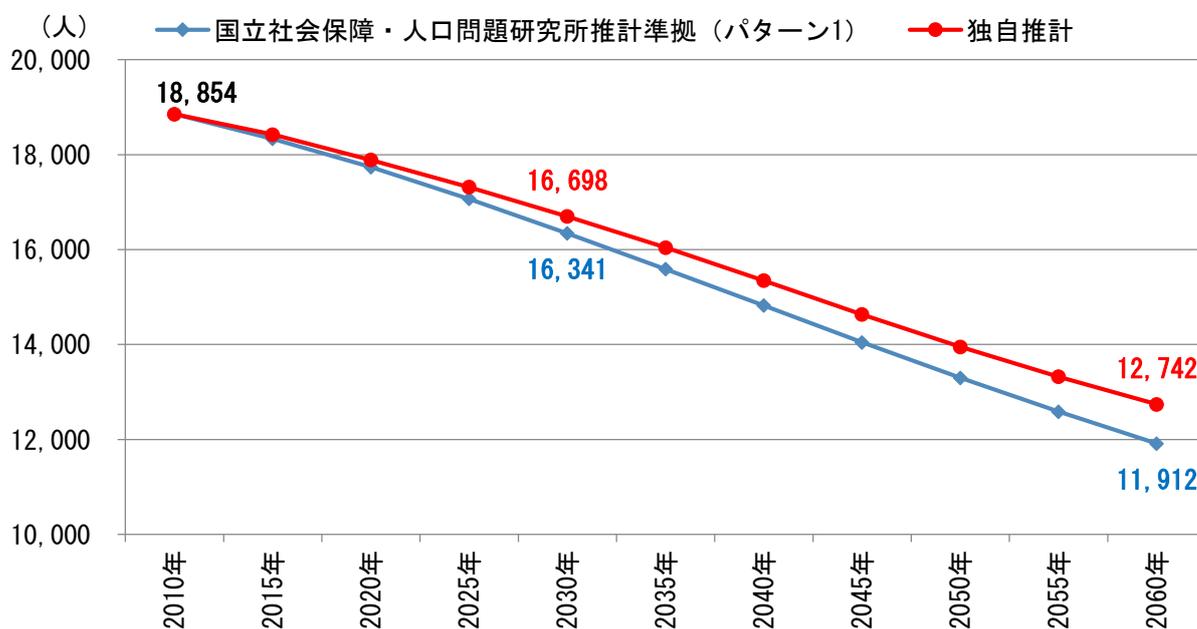
◆合計特殊出生率

2008年～2010年の合計特殊出生率 1.85 から段階的な向上を図り、2030（平成42）年に合計特殊出生率 2.00 を目指し、2060（平成72）年まで継続します。

◆社会動態

社会動態について、2030（平成42）年までに移動率を30%縮小し、その後、移動率が一定で推移すると設定します。また、若者の地元就職希望を加味して推計します。

門川町の将来人口推計



※出所 国提供WSより



「門川町総合戦略」の概要

「門川町総合戦略」は、国及び宮崎県の総合戦略を勘案しながら、門川町の長期ビジョンとして、町の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき方向と人口の将来展望を示した「門川町人口ビジョン」（平成 28 年 2 月策定）及び町の実情を踏まえて、人口、経済、地域社会の課題など、本町の地域課題の総合的解決と魅力あふれる地方創生を実現するため、今後 5 か年の戦略的な実行計画とした「門川町地方創生総合戦略」を策定しました。

平成 23 年 4 月に本町のまちづくりの総合的指針として策定した「第 5 次門川町長期総合計画」（計画期間：平成 23 年度～平成 32 年度）との整合を確保する必要があることから、現行の長期総合計画について検証を行い、その内容を総合戦略に反映させるとともに、長期総合計画における重点戦略として位置づけます。

第 5 次門川町長期総合計画（計画期間：平成 23 年度～平成 32 年度）

長期総合計画における重点戦略

未来の門川ハッピースマイル戦略

計画期間

5 か年（平成 27 年度～平成 31 年度）

将来像

みんなで幸せ創り隊

基本方針

- ◆まち全体で出会いと子育てを支援する
- ◆若者の希望を叶える
- ◆魅力ある地域資源を生かす

基本目標

- ◆基本目標 1 門川町の次代を担う人材を育成する
- ◆基本目標 2 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みをつくる
- ◆基本目標 3 門川町への新しいひとの流れをつくる
- ◆基本目標 4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ◆基本目標 5 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちをつくる



基本目標 1 門川町の次代を担う人材を育成する

	指標名	基準値 (H27)	目標値 (H31)
基本目標	門川町に愛着があるとする割合	77.2% 【意識調査結果より】	85.0%
具体的 施策	①地域リーダーネットワークプロジェクト 地域リーダーの発掘・育成、ネットワークの構築、まちづくり NPO 等の発足		
	②門川教育プロジェクト(キャリア教育・ふるさと教育) 小・中学校や生涯学習にて、産業・歴史・教育・文化等について学ぶ機会を創出し子育て世代の親の交流、地域活動への参加促進		
	③地域おこし協力隊プロジェクト 地域外の人材を積極的に受け入れることによる地域力の維持・強化		
	④やってみようやプロジェクト 大学などの高等教育機関と連携し、門川町の魅力を発掘・発信する観光ガイド・ボランティア育成		
	⑤マッチング支援プロジェクト 就職相談員の育成・確保、地場企業と連携し雇用機会の拡充		
重要業績 評価指標	指標名	基準値	目標値 (H31)
	まちづくり団体(NPO 等)	—	1 団体
	高等教育機関との連携	—	1 連携

基本目標 2 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みをつくる

	指標名	基準値	目標値 (H31)
基本目標	就業者数(就業率)	9,223 人(57.6%) 【H22 年国勢調査】	9,193 人(60.0%) 【360 人雇用増】
具体的 施策	①後継者・起業家育成プロジェクト 独立・自営の就業者に対する支援、研修経費助成等による後継者確保・育成 創業希望者に対し、関係機関と相互に連携を取りながらの各種サポート		
	②門川ブランドプロジェクト 門川ブランドを確立、パッケージ化し、主要都市圏における販売促進を支援		
	③6次産業化支援プロジェクト 農水産品の需要拡大に向け、大学・高校と商品開発連携 生産者と加工者のマッチング支援		
	④地場産業支援プロジェクト 金融機関など関係機関と相互に連携を取り経営基盤の安定強化や後継者の確保 大学等と連携した人材育成や市場調査、ビジネスマッチング支援		
	⑤企業誘致プロジェクト 地域特性を活かした企業、技術力のある中小企業、新エネルギー分野、IT 関連企業等の新規分野に加え、医療機器分野の企業誘致支援		
	⑥働くママ支援プロジェクト 各種審議会委員などへの女性登用の推進。女性の雇用環境の改善と充実		
	⑦第一次産業応援プロジェクト 第一次産業の技術向上、農林道等整備による輸送の効率化や生産性、所得向上への取り組み。農家レストランや農林水産物直売所などの整備		
重要業績 評価指標	指標名	基準値 (H27)	目標値 (H31)
	新規就農者数	2 人	10 人(累計)
	創業支援対象者	8 件	40 件(累計)
	各種審議会女性登用率	14.6% (H26 年度)	30%
	女性就業率	93.5% (H26 年度)	95%
	門川ブランドの確立	—	1 件
	地場産品直売所(レストラン)	—	1 箇所

基本目標 3 門川町への新しいひとの流れをつくる

基本目標	指標名	基準値	目標値 (H31)
	社会増減	△231 (2015年推計値) 【国提供ワークシート】	△134 【社人研推計比 10人減】
具体的 施策	①移住定住促進プロジェクト 移住者の相談・支援窓口のワンストップ化、情報発信 お試し移住体験や魅力ある定住策による通勤者の住宅確保、移住者支援		
	②門川町 PR プロジェクト 門川町の魅力発信のため、各種媒体を活用した行政・町民の協働による門川町の PR		
	③観光施設整備プロジェクト 滞在時間や交流人口の増加に向けた「心の杜」や「乙島」などの整備 スポーツ合宿の利用増に向けた施設整備や民泊の推進		
	④滞在型観光プロジェクト 観光協会を中心に大学や町民との協働による滞在・体験型観光商品の造成 観光ガイド・ボランティアによる滞在・体験型観光の充実や広域的観光ルート形成		
	⑤知の拠点プロジェクト 小・中学校と高校・大学などの高等教育機関の連携による、ふるさと教育やキャリア教育 及び長期休暇中の学習支援		
	⑥地場食品推進プロジェクト 門川ソウルフードのブランド化と PR 強化。地場産品を使用したレストランの整備 地場産品販売ルート拡大や食のイベント開催支援		
	⑦スポーツ推進プロジェクト 門川町の自然を活かしたサイクリング・ランニングコースの作成 既存のスポーツ施設を活用したスポーツイベントやスポーツ合宿の開催		
重要業績 評価指標	数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H32)
	移住者数	—	50人
	観光施設整備件数	—	5件
	町 HP のスマートフォン対応	—	対応
	宿泊者数 「心の杜」入館者数	2,537人 (H26) 215,093人 (H26)	2,800人 225,800人

基本目標 4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標	指標名	基準値 (H27)	目標値 (H31)
	合計特殊出生率	1.85	1.90
具体的 施策	①結婚支援プロジェクト 出会いを生み出す機会の創出に向けた民間団体による自主的なイベント開催への支援 婚活パンフレットの作成や、マナー教室・料理教室など総合的な結婚支援		
	②子育て世代応援プロジェクト(経済的負担軽減) 奨学金制度や保育料の軽減、医療費助成など子育て世帯の経済的負担を軽減		
	③サービス充実プロジェクト 児童福祉施設や放課後児童クラブ、病児・病後児保育など、子ども子育て支援事業計画に 基づくサービスの充実。子育て応援イベント開催による情報共有		
	④子育て支援企業応援プロジェクト 仕事と生活の調和の実現に向けた働きやすい職場環境づくりや子育て環境の充実		
	⑤門川っ子育てプロジェクト 心の杜近隣公園など、子育て世代が安心して遊べる環境の整備 子供たちが健やかに育つスポーツ環境の充実、地域ぐるみの子育ての推進		
重要業績 評価指標	数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H31)
	婚姻件数	79組 (H26年)	105組
	子育て応援カード協賛店 病児・病後児保育	8店舗 —	8店舗以上 1箇所

基本目標 5 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちをつくる

基本目標	指標名	基準値 (H27)	目標値 (H31)
		総人口	18,182 人(平成 27 年 12 月 1 日現在) 【住民基本台帳】

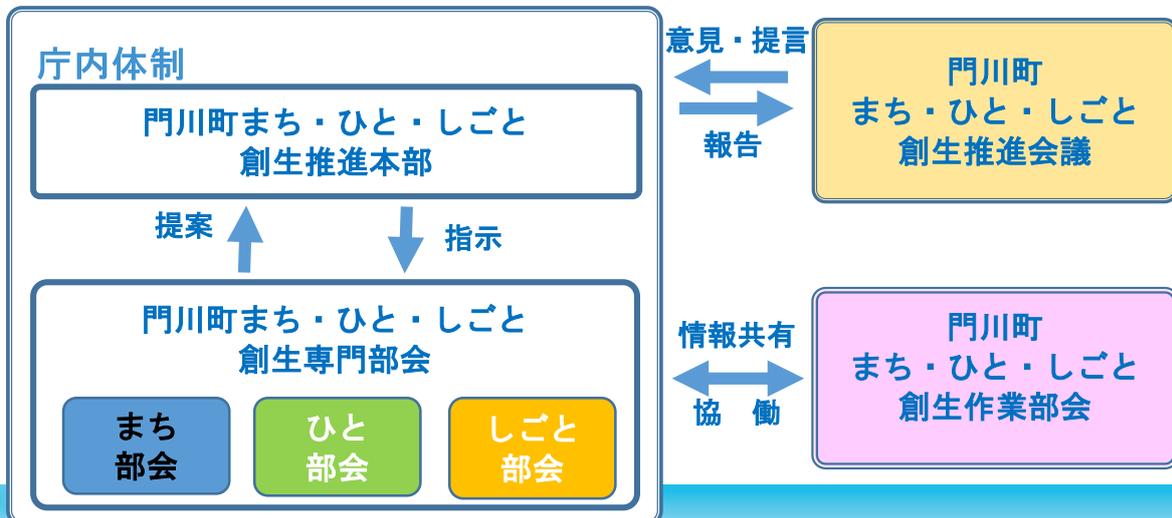
具体的 施策	①安心・安全プロジェクト 広域的な防災体制の充実。自主防災組織体制の強化(消防団員・防災士の維持・確保) 子どもや高齢者が安全に暮らせるための地域防犯体制(行政・門川町子ども見守りネットワーク、見守り隊、企業など)の構築
	②公共交通維持プロジェクト 「門川町地域公共交通網形成計画」に基づく公共交通機関利用促進運動、公共交通機関空白地域へのサポートなど、きめ細やかな交通体系の構築
	③健康・いきいきプロジェクト 安心して生き生きと過ごせるように、介護予防や健康づくり教室などへの参加促進
	④医療体制の維持・確保プロジェクト 安心できる医療体制の整備を図るため、広域的な医療体制の維持・確保、町内の医療機関との連携
	⑤防犯環境整備プロジェクト 防犯灯の LED 化による耐用年数の向上 災害時の避難路への通路灯の設置など、夜間でも安全安心な環境整備
	⑥公共施設活用促進プロジェクト 公共施設等総合管理計画の策定、計画に基づく公共施設の戦略的管理運営

重要業績 評価指標	数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H31)
	自主防災組織数	3 2 組織	4 3 組織
	防犯灯 LED 化	2 4 基	3 2 4 基
	青色防犯パトロールカー	2 3 台	5 0 台
	交通空白地域該当地区	6 地区(H25 度時点)	0 地区
	日常生活におけるバス等公共交通の利用頻度	6. 3 % (H25 度時点)	1 0 % 以上
	公共施設等総合管理計画策定	—	策定

門川町の総合戦略の推進体制

門川町総合戦略の各プロジェクトは、町長を本部長とし、庁内課長級で組織する「門川町まち・ひと・しごと創生推進本部」、庁内実務者レベルで組織する「門川町まち・ひと・しごと創生専門部会」、門川町の有志で組織する「門川町まち・ひと・しごと創生作業部会」を中心に各プロジェクトを推進します。また、住民代表や産官学金労言などで構成する「門川町まち・ひと・しごと創生推進会議」において、各プロジェクトの進捗状況について報告し、意見・提言を頂き、総合戦略を推進します。

推進体制





お問い合わせ先

〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町本町 1 丁目 1 番地
門川町役場 企画財政課
電話：0982-63-1140（代表） / ファックス：0982-63-1356
ホームページ：http://www.town.kadogawa.lg.jp

